

新宿区高齢者の保健と福祉に関する調査

《アンケート調査ご協力についてのお願い》(案)

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

新宿区では、高齢者が住み慣れた地域の中でその人らしく安心して心豊かに暮らし続けることができるよう「高齢者保健福祉計画」及び「介護保険事業計画」を策定し、区のめざすべき基本的な目標や施策の方向性を明らかにしています。

この調査は、新宿区内で介護保険サービスを実施している事業所の皆様を対象に、サービスの現状と、今後の事業展開等についてお伺いするものです。

調査結果は計画見直しの基礎資料としてのみ使用します。また結果は、すべて統計的に処理し、公表するにあたっては貴事業所のお考えが特定されることはありません。

お忙しいなか恐縮ですが、何とぞこの調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、誠に勝手ながら、12月6日(金)までに、同封の返信用封筒にてご投函くださいますようお願いいたします(切手を貼る必要はありません)。

2013年(平成25年)11月

《アンケート調査ご記入にあたってのお願い》

1. この調査票は、同一所在地にある1つの事業所名を選び、送らせていただいております。

同一所在地にある各事業所の状況を取りまとめてお答えください。

2. 事業所単独では回答し難い質問に関しては、貴事業所の運営主体の法人と調整のうえ、お答えください。

《記入方法について》

1. この調査は、平成25年11月1日現在の状況でお答えください。

2. 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。

3. ○の数はそれぞれの質問の指示に従ってください。

4. 質問の回答が「その他」に該当する場合は()内に具体的に記入してください。

5. 調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先

(調査全般について) 新宿区福祉部高齢者福祉課 担当：永見(ながみ)・小峰
〒160-8484 新宿区歌舞伎町一丁目4番1号 電話 03-5273-4591(直通)
(調査の内容について) 新宿区福祉部介護保険課 担当：舟木・小柳
電話 03-5273-4596(直通)

【貴事業所の概要について】

問1 貴事業所の組織(法人格)は、次のうちどれですか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 株式会社(特例有限会社を含む) | 5. 財団法人 |
| 2. 合名・合資会社 | 6. 医療法人 |
| 3. 社団法人 | 7. 特定非営利活動法人(NPO法人) |
| 4. 社会福祉法人 | 8. その他 |
| | () |

問2 貴事業所の属する法人の事業エリアは、次のうちどれですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 新宿区内でのみ事業展開 | 4. 全国的に事業展開 |
| 2. 東京都内でのみ事業展開 | 5. その他 |
| 3. 関東エリアでのみ事業展開 | () |

【事業所で取り扱っているサービス】

問3 貴事業所で取り扱っているサービスの種類、利用申込者の受入状況、経営状況、今後4年間における事業展開の意向についておたずねします。

	ア) 現在取り扱っているサービスの種類 (取り扱っているサービスすべてに○) 取り扱っているサービスの番号 ↓ (1~37) にそれぞれ1つ○をつける	イ) 利用申込者の受入状況 (取り扱っているサービスでそれぞれ1つに○)				
		余裕がある	曜日や時間帯により対応できないことがある	あまり余裕はない	余裕がない(利用を断っている)	現在は事業を休止している
訪問系	1 訪問介護	1	2	3	4	5
	2 介護予防訪問介護	1	2	3	4	5
	3 訪問入浴介護	1	2	3	4	5
	4 介護予防訪問入浴介護	1	2	3	4	5
	5 訪問看護	1	2	3	4	5
	6 介護予防訪問看護	1	2	3	4	5
	7 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5
	8 介護予防訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5
	9 居宅療養管理指導	1	2	3	4	5
	10 介護予防居宅療養管理指導	1	2	3	4	5
通所系	11 通所介護(デイサービス)	1	2	3	4	5
	12 介護予防通所介護(デイサービス)	1	2	3	4	5
	13 通所リハビリテーション(デイケア)	1	2	3	4	5
	14 介護予防通所リハビリテーション(デイケア)	1	2	3	4	5
短期入所	15 短期入所生活介護(ショートステイ)	1	2	3	4	5
	16 介護予防短期入所生活介護(ショートステイ)	1	2	3	4	5
	17 短期入所療養介護(ショートステイ)	1	2	3	4	5
	18 介護予防短期入所療養介護(ショートステイ)	1	2	3	4	5
貸与販売	19 福祉用具貸与	1		3	4	5
	20 介護予防福祉用具貸与	1		3	4	5
	21 福祉用具販売	1		3	4	5
施設系	22 居宅介護支援	1		3	4	5
	23 特定施設入居者生活介護	1		3	4	5
	24 介護予防特定施設入居者生活介護	1		3	4	5
	25 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)					
	26 介護老人保健施設(老人保健施設)					
地域密着型	27 夜間対応型訪問介護	1	2	3	4	5
	28 認知症対応型通所介護	1	2	3	4	5
	29 介護予防認知症対応型通所介護	1	2	3	4	5
	30 小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5
	31 介護予防小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5
	32 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3	4	5
	33 複合型サービス	1	2	3	4	5
	34 認知症対応型共同生活介護					
	35 介護予防認知症対応型共同生活介護					
	36 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護					
	37 地域密着型特定施設入居者生活介護					

介護保険サービスの種類		ウ) 経営状況 (1つに○)		エ) 今後4年間(平成29年度 まで)の新宿区内での事業規模 の意向(1つに○)		
		安定的に 運営でき ている	厳しい	現状維持	拡大・新 規展開し たい	縮小した い(やめ たい)
訪問系	1 訪問介護	1	2	1	2	3
	2 介護予防訪問介護	1	2	1	2	3
	3 訪問入浴	1	2	1	2	3
	4 介護予防訪問入浴	1	2	1	2	3
	5 訪問看護	1	2	1	2	3
	6 介護予防訪問看護	1	2	1	2	3
	7 訪問リハビリテーション	1	2	1	2	3
	8 介護予防訪問リハビリテーション	1	2	1	2	3
	9 居宅療養管理指導	1	2	1	2	3
	10 介護予防居宅療養管理指導	1	2	1	2	3
通所系	11 通所介護(デイサービス)	1	2	1	2	3
	12 介護予防通所介護(デイサービス)	1	2	1	2	3
	13 通所リハビリテーション(デイケア)	1	2	1	2	3
	14 介護予防通所リハビリテーション(デイケア)	1	2	1	2	3
短期入所	15 短期入所生活介護(ショートステイ)	1	2	1	2	3
	16 介護予防短期入所生活介護(ショートステイ)	1	2	1	2	3
	17 短期入所療養介護(ショートステイ)	1	2	1	2	3
	18 介護予防短期入所療養介護(ショートステイ)	1	2	1	2	3
貸与販売	19 福祉用具貸与	1	2	1	2	3
	20 介護予防福祉用具貸与	1	2	1	2	3
	21 福祉用具販売	1	2	1	2	3
	22 居宅介護支援	1	2	1	2	3
施設系	23 特定施設入居者生活介護	1	2	1	2	3
	24 介護予防特定施設入居者生活介護	1	2	1	2	3
	25 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	1	2	1	2	3
	26 介護老人保健施設(老人保健施設)	1	2	1	2	3
地域密着型	27 夜間対応型訪問介護	1	2	1	2	3
	28 認知症対応型通所介護	1	2	1	2	3
	29 介護予防認知症対応型通所介護	1	2	1	2	3
	30 小規模多機能型居宅介護	1	2	1	2	3
	31 介護予防小規模多機能型居宅介護	1	2	1	2	3
	32 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	1	2	3
	33 複合型サービス	1	2	1	2	3
	34 認知症対応型共同生活介護	1	2	1	2	3
	35 介護予防認知症対応型共同生活介護	1	2	1	2	3
	36 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	1	2	1	2	3
	37 地域密着型特定施設入居者生活介護	1	2	1	2	3

問4 介護保険外サービスに宿泊付デイサービスがあります。貴事業所では、宿泊付デイサービスを実施していますか。なお、実施している場合は、平成25年10月の実人数と延べ利用日数をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| 1. 実施している | → 実人数 () 人 | 延べ日数 () 日 |
| 2. 実施していない | →問5へ | |

【今後の参入意向】

(全員におたずねします。)

問5 貴事業所では、小規模多機能型居宅介護への参入についてどのようにお考えですか。(1つに○)

- | | |
|---------------------------|------|
| 1. 関心があり、参入したい | →問6へ |
| 2. 関心はあるが、参入するか否かは今後検討したい | |
| 3. 関心がない | |
| 4. その他 () | |

→問5-1 小規模多機能型居宅介護への参入課題をどのようにお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. サービスに係る経費が多く採算がとれない |
| 2. サービスを行う人材を確保することが困難である |
| 3. 指定運営基準が厳しすぎる |
| 4. 公的資金援助が少ない |
| 5. 利用者のサービスに対する理解がなく、登録定員の確保が難しい |
| 6. その他 () |

(全員におたずねします。)

問6 貴事業所では、複合型サービスへの参入についてどのようにお考えですか。(1つに○)

- | | |
|---------------------------|------|
| 1. 関心があり、参入したい | →問7へ |
| 2. 関心はあるが、参入するか否かは今後検討したい | |
| 3. 関心がない | |
| 4. その他 () | |

→問6-1 複合型サービスへの参入課題をどのようにお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. サービスに係る経費が多く、採算がとれない |
| 2. サービスを行う人材を確保することが困難である |
| 3. 指定運営基準が厳しすぎる |
| 4. 公的資金援助が少ない |
| 5. 利用者のサービスに対する理解がなく、登録定員の確保が難しい |
| 6. その他 () |

(全員におたずねします。)

問7 貴事業所では、単独ショートステイへの参入についてどのようにお考えですか。(1つに○)

1. 関心があり、参入したい →問8へ
2. 関心はあるが、参入するか否かは今後検討したい
3. 関心がない
4. その他 ()

問7-1 単独ショートステイへの参入課題をどのようにお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

1. サービスに係る経費が多く採算がとれない
2. サービスを行う人材を確保することが困難である
3. 指定運営基準が厳しすぎる
4. 公的資金援助が少ない
5. その他 ()

【人材の確保・定着・育成】

(全員におたずねします。)

問8 この1年間、貴事業所の人材の確保の状況はどうか。(1つに○)

1. 確保できている
2. おおむね確保できている
3. あまり確保できていない
4. 確保できていない

問9 貴事業所では、人材の確保について、どのような取り組みを行っていますか。また差し支えなければ、貴事業所の特徴的な取り組みについて、お聞かせください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 定期的に求人誌への掲載などを行っている
2. 就職説明会への参加を行っている
3. 福祉専門学校等教育機関との連携を図っている
4. ハローワークとの連携を図っている
5. 新宿区勤労者・仕事支援センターとの連携を図っている (新宿わく☆ワークによる求人など)
6. 人材派遣会社との連携を図っている
7. 無資格者でも採用を行い、採用後に資格取得講座を受講させている
8. 採用時に給与 (賞与・手当含む) を他社より好条件に設定している
9. 採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている
10. 育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている
11. 採用時に仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている
12. インターンシップ制度を導入している
13. その他 ()
14. 特に何も行ってない

【問9について、貴事業所の特徴的な取り組みをお聞かせください。】

問10 貴事業所のこの1年間の離職率はどのくらいですか。(1つに○)

1. 最近1年間に離職者はいない	4. 20%以上30%未満
2. 10%未満	5. 30%以上
3. 10%以上20%未満	6. わからない

※離職率＝この1年間の退職者数÷1年前の在職者数×100 とします

問11 貴事業所では、人材の定着・育成（離職の防止）について、どのような取り組みを行っていますか。また差し支えなければ、貴事業所の特徴的な取り組みについて、お聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

1. 近隣の企業や同業他社の給与水準を踏まえ、給与額を設定している
2. 永年勤続など一定期間勤めた際の報奨制度を設けている
3. 能力や仕事ぶりによって、管理職への登用機会を設けている
4. 非正規職員から正規職員への登用機会を設けている
5. 外部研修に参加できない職員のために、内部研修を充実させている
6. 新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで知識や技能を指導するなどの支援体制を設けている
7. 育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている
8. 休憩室や談話室の設置など、職員がリラックスできる環境を整えている
9. 上司や管理職が頻繁に面談を行い、職員の要望や不満を汲み取っている
10. 仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている
11. 職員への満足度（不満）調査を行い、事業所における課題の把握を行っている
12. その他 []
13. 特に何も行ってない

(全員におたずねします。)

問15 貴事業所の収支の向上や改善を図るにあたって、どのような考え方が最も近いですか。
(1つに○)

- | |
|--|
| 1. 事業の拡大・新規展開（事業部門の整理含む）を実施していく |
| 2. 現在の事業体制の中で、業務の効率化を図る |
| 3. 現在の事業体制を縮小する |
| 4. その他（) |

問16 貴事業所では、収支の向上や改善に向けて、どのような取り組みを行っていますか。また差し支えなければ、貴事業所の特徴的な取り組みについて、お聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 事業所の特徴的なサービス（自社の売り）をPRし、利用者確保を図っている |
| 2. ホームページの開設や工夫により、利用者確保を図っている |
| 3. 事業者（ケアマネジャーなど）への営業を行い、利用者確保を図っている |
| 4. 外部経営コンサルタントを導入している |
| 5. 東京都第三者評価を受審している |
| 6. 介護報酬の加算を算定できるような人材の確保を図っている |
| 7. 給与の抑制（賞与・諸手当等含む）による人件費の削減を図っている |
| 8. 人員削減（非正規職員化含む）による人件費削減を図っている |
| 9. 人件費以外の経費（光熱水費、事務用品費等）の削減を図っている |
| 10. IT化を推進し、業務の効率化を図っている |
| 11. 組織編成（介護チーム編成など）を見直し、業務の効率化を図っている |
| 12. その他（) |
| 13. 特に何も行ってない |

【問16について、貴事業所の特徴的な取り組みをお聞かせください。】

--

【高齢者総合相談センターについて】

問17 貴事業所は、利用者に関して高齢者総合相談センターへ相談したことがありますか。
(1つに○)

1. 相談したことがある
2. 相談したことはない →問18へ

→問17-1 相談した分野は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. ケアプランの立て方や書き方等に関する事
2. 介護保険制度全般に関する事
3. 区の高齢者福祉サービスに関する事
4. 医療機関との連携に関する事
5. 高齢者虐待に関する事
6. 成年後見に関する事
7. 消費者被害に関する事
8. 生活困窮や生活保護等に関する事
9. 認知症に関する事
10. 精神疾患に関する事
11. サービス提供事業所に関する事
12. ネットワークの構築に関する事
13. その他 ()

→問17-2 高齢者総合相談センターへ相談した際の全般的な評価は、次のうちどれですか。
(それぞれ1つに○)

	そう思う	まあそう思う	あまり そう思わない	そう思わない	わからない
ア. すぐに対応してくれた	1	2	3	4	5
イ. 問題解決への方向性を確認できた	1	2	3	4	5
ウ. 利用者の支援や対応について確認できた	1	2	3	4	5
エ. 新たな知識や情報を得ることができた	1	2	3	4	5
オ. 利用者本人や家族との調整がとれた	1	2	3	4	5
カ. 関係機関との連携がとれた	1	2	3	4	5
キ. 問題の解決に役立った	1	2	3	4	5

【ケアマネジャーとの連携】

(全員におたずねします。)

問18 貴事業所において、ケアマネジャーとの連携はとれていますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 連携がとれている | 3. あまり連携がとれていない |
| 2. おおむね連携がとれている | 4. 連携がとれていない |

問19 貴事業所にとって、ケアマネジャーとの連携における課題は何だと思えますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 日程が合わず、サービス担当者会議へ参加できないことが多いこと |
| 2. 必要な情報の共有が上手く図れないこと |
| 3. 連携のために必要となる時間や労力が大きいこと |
| 4. お互いの都合で、対応が遅れる場合があること |
| 5. ケアマネジャーと話し合う機会が少ないこと |
| 6. その他 () |
| 7. 特になし |

【新宿区への要望】

問20 事業者の立場から、保険者である新宿区に対して、何を望みますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------|
| 1. 介護保険に関する情報提供 |
| 2. 質の向上のための研修 |
| 3. 不正な事業所の指導 |
| 4. 利用者への適正なサービス利用の啓発 |
| 5. 適正な介護報酬請求のための情報提供 |
| 6. 高齢者総合相談センターの機能の充実 |
| 7. 新宿区介護サービス事業者協議会への支援 |
| 8. その他 () |
| 9. 特になし |

問21 事業者の立場からみて、新宿区の高齢者支援の状況をどうお考えですか。

(それぞれ1つに○)

	充実している	まあ充実している	やや不足している	不足している	わからない
ア. 一人暮らし高齢者への支援	1	2	3	4	5
イ. 高齢者への就労支援	1	2	3	4	5
ウ. 要介護状態になっても安心して住み続けられる住まいの確保（住宅改修・住み替えの支援など）	1	2	3	4	5
エ. かかりつけ医・かかりつけ歯科医の普及	1	2	3	4	5
オ. 在宅療養の支援体制	1	2	3	4	5
カ. 近隣関係など地域のつながり・支え合い	1	2	3	4	5
キ. 高齢者も参加できる地域活動・ボランティア活動	1	2	3	4	5
ク. 高齢者総合相談センターの支援体制	1	2	3	4	5
ケ. 認知症高齢者への支援体制	1	2	3	4	5
コ. 福祉・健康などに関する情報提供体制	1	2	3	4	5
サ. 権利擁護への支援体制（新宿区成年後見センター）	1	2	3	4	5
シ. 災害時の要援護者への支援体制	1	2	3	4	5

問22 貴事業所が、介護保険事業を新宿区内で展開している際に、地域の特性や課題などがありましたら、ぜひお聞かせください。なお、地域区分は、おおまかな目安でかまいません。また、区全体の課題があれば、「区全体」欄に、ご記入をお願いいたします。

地域（日常生活圏域）	課題など （例）ボランティア活動が活発、町会や自治会の活動が活発、車が入りにくい、渋滞が多い、オートロックの建物が多い、社会資源が足りない、関係機関との連携がとりにくい、地域のつながりが薄いなど
東地区 （新宿1～5丁目、四谷、 笹笥町、榎町、市谷、 神楽坂など）	
中央地区 （戸山、大久保、戸塚町、 新宿6～7丁目、高田馬場、 西早稲田、百人町など）	
西地区 （西新宿、北新宿、落合な ど）	
区全体	

問23 高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険について、ご要望・ご意見がありましたらご自由にお書きください。

～ ご協力ありがとうございました ～
 ご記入が済みましたら同封の返信用封筒（切手不要）で、
 12月6日（金）までにご投函ください。
 ご不明な点がありましたら、お手数ですが、表紙の問い合わせ先にお電話を
 お願いいたします。